

第2章 1. 飛鳥の朝廷 b. 飛鳥文化 (図録p34~38 教p30~31)

①6世紀、仏教の伝来→[1 7]世紀初蘇我氏・朝廷の保護により急速に発展→[2 飛鳥]文化成立

初期の仏教の性格…[3 呪術]の一種、寺院・仏像…古墳にかわり[4 豪族の権威]を示す

おもな寺院…[5 飛鳥]寺(法興寺)、斑鳩寺([6 法隆]寺)・四天王寺 (教31)
蘇我馬子建立 厩戸王建立・世界最古の木造建築

②飛鳥文化の特徴

(1)最初の[7 仏教]中心の文化

(2)[8 百済] [9 高句麗], [10 南北朝]時代の中国の影響

仏像=[11 アルカイクスマイル](古拙の微笑)を浮かべ、[12 南北朝]型の目をする(図36~37)
北魏様式=法隆寺金堂[13 釈迦三尊像](鞍作鳥作)、飛鳥寺釈迦如来像(飛鳥大仏)
法隆寺夢殿[14 救世観音像]

特徴:左右対称・[15 杏仁]形の目・仰月形の口・パターン化された衣文

南朝様式=法隆寺[16 百済観音]像、広隆寺半跏思惟像([17 弥勒菩薩]像)
中宮寺半跏思惟像(弥勒菩薩像)

特徴:自然でリアルな人体表現・自然な衣文

(3)文化の[18 国際性]…ギリシア・[19 西アジア]・インドなどの影響もみられる

例:法隆寺の柱の[20 エンタシス],法隆寺[21 獅子狩文錦],[22 忍冬唐草]文様
ギリシア神殿にみられる ササン朝の絵柄 古代エジプトが発祥

飛鳥仏の顔を描いてみよう	エンタシスの柱	法隆寺の伽藍配置	薬師寺の伽藍配置
--------------	---------	----------	----------

・工芸…法隆寺[23 玉虫厨子],[24 中宮寺天寿国繡帳] (図38)
表面をタマムシの羽で覆う 厩戸王の天寿国での姿を描く

・学問…厩戸皇子「[25 三経義疏]」を編纂=仏教の学問的研究・高度な理解に達する

・暦…[26 観勒](百済の僧)、紙・墨・絵の具…[27 曇徴](高句麗の僧)が伝える

c. 白鳳文化 (図42~45 教34~35)

時 期:[28 天武・持統]朝、律令形成期の文化
(7世紀末~8世紀初頭)

担い手:[29 皇族・貴族]・地方豪族

特 長:中国[30 唐初期]の文化影響を受け、
律令形成期の[31 生氣のある若々しい]文化

中 心:大官大寺・[32 薬師寺]など官立の大寺院
→仏教への[33 国家]による保護・監督の強化

おもな建築:[34 薬師寺東塔]「凍れる音楽」(フェノロサ)

彫刻:[35 金銅]像が中心・興福寺仏頭、[36 薬師寺金堂薬師三尊像]、法隆寺阿弥陀三尊像
(橘夫人念持仏)

おもな絵画:[37 法隆寺金堂壁画],[38 高松塚]古墳壁画
→アジャンタ石窟壁画に酷似 →[39 高句麗]の影響

文学:漢詩文の発達([40 大津皇子]ら)→[41 漢字]文化と[42 儒教]思想が地方豪族にも広がる
和歌の詩型の固定化([43 柿本人麻呂]・額田王ら)

<まとめ>

1, 飛鳥文化とは、百済・高句麗などく > 半島やく > 時代の中国の強い影響の元
に生まれた日本初のく > 文化である

2, 飛鳥文化は、シルクロードを経由してく > や西アジア、インドなどの影響も見られるく
> 文化である。

3, 飛鳥文化の文化財の多くはく > 寺に多くが保存されている

4, 白鳳文化は日本でのく > 国家形成・中国でのく > 成立というく > 文
化であるといえる。

5, この時期は、寺院はく > によって建立され、彫刻なども莫大な費用を要するく > 像
が中心である。

6, この時期の文化財はく > 寺に多く見ることができる

白鳳の仏像の顔を描いてみよう